

十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020（概要）

1. 現状分析

- (1) 公園の特徴
- (2) 公園を訪れている外国人旅行者
- (3) 公園が有する課題
 - 1) 利用拠点(施設の老朽化・廃屋等・冬期利用促進等)
 - 2) アクセスルート・公園道路(公園までの誘導・二次交通等)
 - 3) 受入態勢(多言語対応・Wi-Fi等・接遇・体験プログラム)
 - 4) 情報発信
 - 5) ターゲットに応じた外国人目線の取組
 - 6) 自然環境の保全

2. 目指すべき姿・取組の方針

- (1) 多彩な登山道を活かします
- (2) 冬季の楽しみを充実させます
- (3) 温泉・湯治を楽しんでいただきます
- (4) 手軽に原生的な自然・活火山現象を楽しんでいただきます
- (5) 十和田信仰を体感していただきます
- (6) アクセスルートの景観向上、案内誘導の強化を行います
- (7) ビューポイント(重点取組地域)で集中的な取組を進めます
- (8) 情報発信・プロモーションを行います
- (9) ターゲットのニーズを把握して取組めます

3. 目標

外国人利用者数 3倍

2015年：7千人 → 2020年：2.1万人

4. プロジェクトの実施

- (1) アクセスルートの景観向上、案内誘導の強化
- (2) ビューポイントにおける集中的な取組
- (3) 公園全体に関する取組等
- (4) 情報発信・プロモーション
- (5) 構成員以外の主体による関連した取組

5. 効果検証

十和田八幡平国立公園のテーマ
みちのくの脊梁～原生林が彩る静謐の湖水、
息づく火山と奥山の湯治場

十和田湖



大湯沼



自然公園財団提供

八幡沼



奥入瀬溪流



八幡平樹氷と岩手山



玉川温泉



玉川温泉提供

十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020（概要）

目標：外国人利用者数 3倍（2015年：7千人→2020年：2.1万人）

課題

- ① 利用拠点：施設の老朽化、廃屋等、冬期利用促進
- ② アクセスルート・公園道路：公園までの誘導、二次交通
- ③ 受入態勢：多言語対応、Wi-Fi、接遇、体験プログラム
- ④ 情報発信
- ⑤ ターゲットに応じた外国人目線の取組
- ⑥ 自然環境の保全



■ 利用拠点の廃屋等(休屋休平地区)



■ 多言語未対応の標識

目指すべき姿・取組の方針

【原生的自然環境と風景の保全、広域での連携】

① 多彩な登山道を活かす



② 冬の楽しみを充実



③ 温泉・湯治体験



後生掛温泉提供

④ 手軽に原生自然を楽しむ



⑤ 十和田信仰を体感



■ ガイドツアー限定エリア候補地(左)

⑥ アクセスルートの景観向上・案内誘導強化

✓ 標識表記等統一、廃屋等撤去、二次交通改善、景観計画検討、公園入口標識再整備

⑦ ビューポイントにおける集中的な取組

- ✓ 青楓山バイパス整備による自然保護と利活用の両立
- ✓ 岩手山登山口の乱立標識の整理
- ✓ 休屋休平地区、八幡平見返峠の廃屋撤去・総合的再整備
- ✓ Wi-Fi、多言語対応、体験プログラム、ガイド育成、ビジターセンターの魅力向上、自然環境の保全

⑧ 情報発信・プロモーション

✓ 十和田・八甲田観光ブラッシュアップ事業、DMO検討等の体制強化

⑨ ターゲットのニーズを把握した取組み